

平成 27 年（2015 年）5 月 7 日

## 私の市政への思い

札幌市長 **秋元克広**

人を大事にするということを原点に据え、地域の実状をしっかりと見つめ、市民、企業、行政が知恵を出し合い、地域の課題を解決する「徹底した地域主義」で、まちづくりを進め、心豊かで明るいさっぽろの未来を描く。

### 1 私が描く未来のさっぽろ

#### (1) 「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」さっぽろ

人口減少・超高齢社会を見据え、誰もが安心して暮らし、人とつながり、生涯現役として必要とされ、さっぽろの市民であることに誇りを持ちながら、いきいきと輝ける街。そんな街さっぽろを目指す。

#### (2) 「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」さっぽろ

時代の変化を的確に捉え、新しい試みに大胆かつ果敢に挑戦し、国内外から人、モノ、情報などを引きつけ、世界都市としての魅力と活力を創造し続け、北海道をリードしていく街。そんな街さっぽろを目指す。

### 2 私が取り組む 4 つの挑戦

#### ①「雇用を生み出す力強い街」さっぽろをつくる

さっぽろの未来を担う若い世代が地元で生活していくためには、安心して働いていける雇用の場が必要。

○さっぽろの経済の屋台骨を支えている地域の中小企業のチャレンジを応援し、地域経済を元気にする振興策を積極的に展開するとともに、次世代を見据えた産業育成、人材育成にも力を注ぎ、雇用機会を拡げることで、「雇用を生み出す力強い街」さっぽろをつくる。

○また、さっぽろを含めた北海道経済の成長をけん引する「食」と「観光」をこれからの成長分野として位置づけ、市内経済をさらに活性化させる。

## ②「女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街」さっぽろをつくる

女性の割合が高い街さっぽろが一層発展していくためには、女性がその持てる能力を存分に発揮できる環境をさらに整えていくことが重要。また、子どもたちの中にある「生きる力」を育み、大きく伸ばすことで、世界の舞台で活躍する「さっぽろっ子」となっていくことを期待。

○出産・育児の際に雇用がきちんと守られる環境を整え、社会全体で子育てを支えるしくみづくりを進めるとともに、学問、スポーツなどあらゆる分野で、子どもたちが自らの可能性に気づく機会や、成長していくための場を増やすことで、「女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街」さっぽろをつくる。

○また、子どもの将来が生まれ育った環境で左右されないよう、貧困が世代を超えて連鎖することがないように、子どもの貧困対策を進める。

## ③「いつまでも安心して暮らせる街」さっぽろをつくる

超高齢社会の中でいつまでも安心して暮らせるようにするためには、年齢、性別、障がいの有無などの違いがあっても、それぞれが自立し、お互いを尊重し合いながら社会に参加できる街であることが必要。

○子どもから高齢者まで、地域に住む人みんなが福祉のまちづくりの担い手となるしくみを整え、やりがい・生きがいを創出するとともに、互いに支え合う地域福祉力を向上させて、「いつまでも安心して暮らせる街」さっぽろをつくる。

○また、健康で、いきいきと暮らしていくために必要な行政サービスをしっかりと提供しつつ、まもなく到来する超高齢社会も見据え、医療・看護・介護・福祉の一貫した連携による生活支援サービスをはじめとして多様なサービスを展開する。

## ④「魅力と活力にあふれた暮らしやすい街」さっぽろをつくる

世界都市として、今後も国内外から多くの人々や企業を引きつけるためには、経済・文化・芸術・スポーツなど幅広い分野でさまざまな交流や活動が活発に展開されているわが街さっぽろの魅力、求心力を維持し、一層高めていくことが重要。

○民間投資を呼び込む再開発事業の促進等により、世界都市・道都としての都市整備を進め、「魅力と活力にあふれた暮らしやすい街」さっぽろをつくる。

○また、「環境首都・さっぽろ」として、自然と共生する快適な都市生活の実現に向け、再生可能エネルギーの積極的活用、効率的なエネルギーネットワークの構築、「循環型社会」への取組や自然環境を守る取組を継続・推進する。

○さらに、交通網を充実させ、積雪寒冷地ならではの課題である除雪のレベルアップを図りながら、地域で快適な日常生活を営むことのできる「歩いて暮らせるまちづくり」を進める。

○同時にハード・ソフトの両面で災害に強い都市づくり、生活環境の安全の確保に努める。

### 3 私が目指す市政運営

～「市民とともに不断の改革を進める街」さっぽろをつくる～

#### ①市民力の結集

- ・人口減少というこれまで経験したことのない時代の転換点を迎え、今後、少子化、超高齢社会、都市基盤の老朽化等の問題に取り組んでいかなければならない。
- ・この厳しい局面を乗り越え、新しい時代を切り開き、先人達が築き上げてきた私たちが愛してやまない故郷さっぽろを将来の世代に引き継いでいくためには、市民、企業、行政の総力「市民力」を結集し、オールさっぽろで取り組んでいく。

#### ②市民感覚の行政運営

- ・12年ぶりの市職員出身市長の誕生により、役所の論理が横行することを懸念する声がある。
- ・役所の理屈によって、役所に都合の良い行政運営を進めることなく、常に職員一人ひとりが自らの中に持っている「市民感覚」を大切に行政運営を進める。

#### ③財政バランスの重視

- ・限られた財源の中で、選択と集中により、最小の経費で最大の効果をあげられるよう、メリハリの効いた財政運営を行うことを基本とする。
- ・将来世代に過大な負担を残さぬよう財政規律を堅持しつつ、今後の公共施設の大量更新にあたっては、利用者の世代間負担の公平性を確保するため市債を活用するとともに、民間投資の誘発や地域経済の活性化により税収増につながる政策に対しては、未来への投資として財政出動を行う。

#### ④道内市町村との連携

- ・さっぽろの魅力は、豊かな自然や食などの北海道の魅力に支えられているものであり、まさに北海道の発展なくしてさっぽろの発展はない。
- ・これまで以上に道内178市町村と相互に補完し合う関係を築くとともに、北海道のためにさっぽろがあるという意識を忘れずに、道都として北海道活性化の推進エンジンの役割を果たしていく。